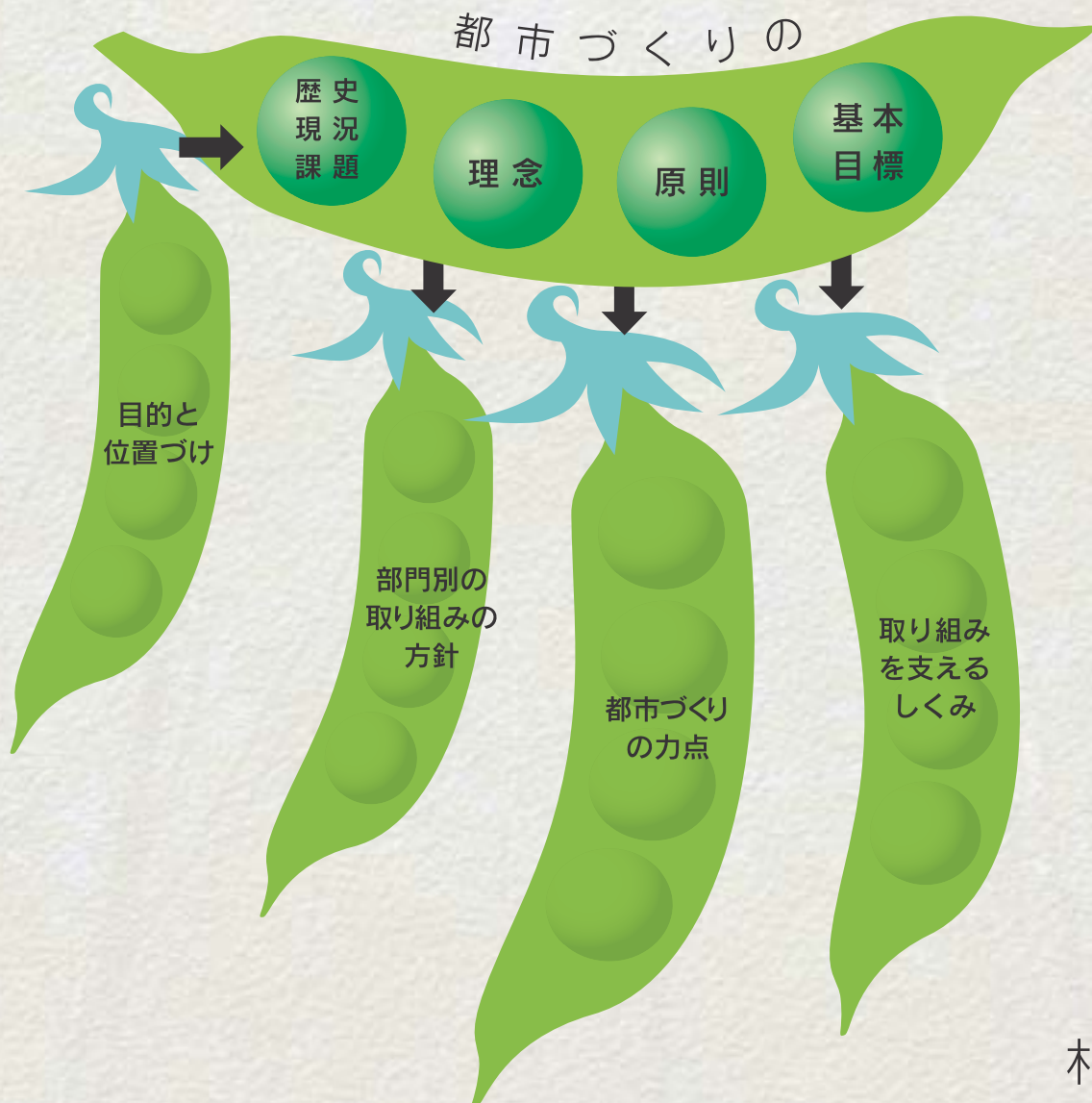


持続可能なコンパクト・シティへ



札幌市都市計画 マスタープラン

2004





札幌は、開拓から130年あまりの比較的短い期間で、人口185万人を超える大都市へと成長しました。

多雪・寒冷の厳しい気候風土の中、多くの先人たちの努力によって、恵まれた自然環境と充実した都市機能とが調和する都市づくりが進められ、今や多くの市民が札幌を好きだと思い、札幌に住み続けたいと感じています。

しかし、人口増加が落ち着きを見せるとともに本格的な高齢社会が到来し、人々が暮らしに求める価値は実に多様になっています。一方で、深刻化する地球環境問題に、一層責任ある対応が求められています。

このような時代の転換期において、札幌が多くの市民に愛され、世界に誇れる街であり続けるためには、だれもが歩いて暮らせる範囲でさまざまな活動ができることや、移動などに伴うエネルギー利用を極力小さくすることが今まで以上に重要になります。私たちはそのために力を合わせ、先人たちが築き上げたこの札幌の資源を十分に生かしながら、新しい時代の取り組みを進めていかなければなりません。

このような認識のもと、これからの札幌の都市づくりの理念として「持続可能なコンパクト・シティへの再構築」を掲げ、取り組みの“基本的な方針”を定めたのが、この「札幌市都市計画マスタープラン」です。

これは文字通りの“基本的な方針”です。市民勉強会や素案への意見募集など、さまざまな機会を通じて皆さんのご意見をいただきながら、転換期の都市づくりを進めていく上で大切にすべきことをまとめた、取り組みの指針となるものです。

このマスタープランのもとで具体的な取り組みを総合的に進めていく段階はこれからです。行政はもとより市民・企業など都市の構成員それぞれがこのマスタープランの考え方を共有し、今後さまざまな場面で、さまざまな議論を通じて協働の都市づくりが進められていくことを、そして、地域を大切にし、自分たちのまちに愛着と誇りを持てるような取り組みの連鎖が札幌全体の魅力と活力の向上を支える大きな力になっていくことを私は期待します。

2004（平成16）年3月

札幌市長 上田文雄

1	目的と位置づけ	1
1-1	目的	2
1-2	位置づけ	3
1-3	計画の前提	4
(1)	目指すべき都市像等	4
(2)	目標年次	4
(3)	将来人口	4
(4)	対象区域	5
1-4	市民意見の反映にかかわる取り組み	6
1-5	計画の構成	7
(1)	計画の構成	7
(2)	内容の骨格	8
2	都市づくりの理念・原則と基本目標	11
2-1	これまでの都市づくり	12
(1)	開拓期の都市づくり	12
(2)	戦前の都市づくり	13
(3)	戦後の都市づくり	14
(4)	政令指定都市移行後の都市づくり	15
2-2	現況、動向、課題	16
(1)	都市の現況	16
(2)	都市を取り巻く状況の変化	17
(3)	生じている現象・課題	20
2-3	これからの都市づくり～理念・原則と基本目標～	22
(1)	基本方向の転換の必要性	22
(2)	都市づくりの理念と原則	24
(3)	都市づくりの基本目標	32

3	部門別の取り組みの方針	35
3-1	土地利用	36
(1)	基本方向	36
(2)	市街地の範囲	39
(3)	市街地の土地利用	40
(4)	市街地の外の土地利用	52
3-2	交通	54
(1)	基本方向	54
(2)	総合的な交通ネットワークの確立	57
(3)	地域特性に応じた交通体系の構築	61
3-3	みどり	62
(1)	基本方向	62
(2)	みどりの配置	65
(3)	みどりの質的充実	67
3-4	その他の都市施設	68
(1)	河川	68
(2)	上水道	69
(3)	下水道	71
(4)	廃棄物処理施設	73
4	都市づくりの力点	77
4-1	都心の再生・再構築	79
4-2	多中心核都市構造の充実・強化	83
4-3	多様な住まい方を支える質の高い居住環境の実現	85
4-4	市街地の外の自然環境の保全と活用	88
4-5	オープンスペース・ネットワークの充実・強化	90
5	取り組みを支えるしくみ	93

参考資料	99
i 策定の経緯	100
ii 市民意見の反映にかかわる取り組み	102
① 市民勉強会の開催	102
② ニュースレターの発行	104
③ 素案の公表と市民意見の募集	106
④ 市民意見を踏まえた「都市づくりの原則」の設定	112
iii 用語解説	116
